



第36号

こまがた元気会だより



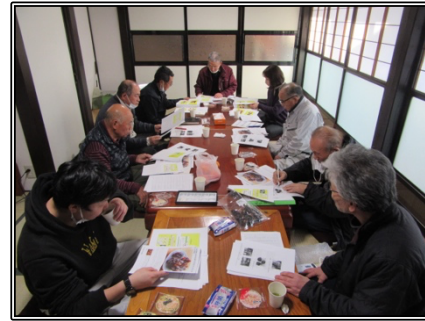
令和6年が明け早1か月が経ちます。こまがた元気会の重点的な取組の一つは「共に支え合う安全・安心な里づくり」ですが、「支え合い」「安全・安心」という言葉がいかに大切かを感じさせられる年明けとなりました。今年も皆様とともに元気な駒形の里づくりに向けて歩んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

新館の利用をお待ちしています！

前号（第35号）でもお知らせしましたが、こまがた元気会の新館（竹屋丙30-1の旧大川原栄喜氏宅）が昨年12月にオープンし、各種会合等でも利用いただくようになってきています。



新館の外観



会議での使用の様子

新館使用の利用方法等を改めて次のとおりお知らせしますので、お気軽にご利用ください。

なお、館の名称を「駒形げんき交流館」とする予定ですが、「気軽に集える場」というような意味で何か良い【愛称】があれば事務局（下記）にご提案いただければ幸いです。

《 利用案内 》

この館は、地域の皆さんどなたでも（個人・団体）、各種会合など交流の場として利用いただけます。

利用可能日：原則として毎日、午前9時～午後10時

利用できる部屋：和室3部屋（4・5畳、6畳、7・5畳）※10名程度の会合に対応できます。

利用料金：無料

※暖房費別途（30分迄0円／30分超1時間迄100円／以降1時間毎追加100円）

- その他：
- ・ゴミは原則お持ち帰り頂きます。
 - ・利用が重なる時は先着順でのご案内となります。
 - ・事務局職員がいない時の利用については、予め開閉キーの受け渡しを行います。
 - ・ご不明点は事務局にご相談ください。

令和6年2月1日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町中屋沢字田中乙3（里の駅こまがた元気館）

電話 080-2805-1050（事務局：大平）

メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO法人かけはし（代表理事 石島 来太）喜多方市寺田4905-21

◎新しい計画「こまがた元気プラン」づくりが進んでいます！◎

これまでもお知らせしていますように、令和6年度からのこまがた元気会の取組の指針となる「こまがた元気プラン」の策定作業が現在進められています。

「こまがた元気ビジョン」に基づくこれまでの取組経過（下記）を踏まえ、下表のようなA～D4つの検討グループを中心に、今後新たに重点的に取り組む事業・活動について話し合っており、2月中にはまとめていく予定ですので、皆様からも、駒形をこうしたい、こういう取組がどうかなどのご提案があれば事務局（前頁）にお寄せください。

こ ま が た 元 気 会 の 取 組 経 過	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月 こまがた元気会発足 ・実践検討部会を順次立上げて地域資源の保全・活用と課題対応に向け検討・実践 <ul style="list-style-type: none"> *市指定天然記念物メグスリノキの実生活動*八百比丘尼尊の伝承活動*花の植栽・育成による景観づくり活動*身知らず柿の活用活動*地区内での支え合い活動（生活支援支え合い会議）等
	令和2年度	<p>地区の将来像とその実現に向けた基本的な取組構想（ランドデザイン）を盛り込んだ「こまがた元気ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定</p> <p>地区の将来像 住みよく元気な「こまがた」の創造～田舎暮らしはステータス～</p> <p>重点取組分野 A 「農」を基盤とした持続可能な里づくり</p> <p>B 雄国山麓の魅力を活かした憩いと癒しの里づくり</p> <p>C 歴史・文化・産業遺産を後世につなぐ里づくり</p> <p>D 共に支え合う安全・安心な里づくりー交流・活動拠点づくり</p>
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の交流・活動拠点「里の駅こまがた元気館」（JA施設を借用）を開設 ・元気館に専任職員1名を配置（市集落支援員） ・ビジョンの4重点取組分野ごとに検討グループを設け、実践検討部会と連携して活動開始 等
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所「こまがた元気マルシェ」の開設・運営（5月～） ・「会津の八百比丘尼さま」絵本を作成配布（2,000部作成、地区全戸・関係機関等へ配布） ・集落のいきいきサロンづくりを進めるとともに、健康づくりサポートチームを立ち上げて健康相談活動を開始 等
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊1名を配置（5月～） ・地区内の空き家を市補助金を活用して改修整備し、12月より新館として事務所及び地区の交流・活動拠点として利用を開始 等

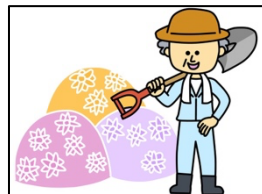
～方向づけされている主な取組内容～

A（農基盤）関係



農産物直売所（マルシェ）の整備拡充や農産物加工品づくりも手がけていくこと等

B（雄国山麓）関係



自然を丸ごと体感するウォーキングや地域にふさわしい花木で里を彩る活動の継続発展等

C（歴史・文化）関係



地域の歴史・文化資源を巡るウォーキングや駒形の魅力を伝える情報の発信等

D（支え合い）関係



高齢者世帯等の日常生活での困りごとを「ちょっと手助け」する有償ボランティア活動、新館を拠点とした健康相談や子供たちへの学習支援活動等